

人類愛にそゝり立つ

同愛記念病院と其建築工事

都市の病院建築が平面的から立體的になり、他の高層建築と如何なる程度迄併進すべきか、非常時に對する設備を完全にすれば高層病院可なるか、一般建築に比し最も複雜性の大なる病院設計に就て近藤氏は最新の研究を有せらるゝ第一人者で其設計上の意見も多分にあるが同愛病院は今工事中であるから全般の紹介は他日に譲る事とします。(編者)

同愛記念病院は、大正十二年九月一日の大震災後に、米國の特志家が、救濟資金を募集して、我國に寄贈せられたものゝ一部資金を以つて、内務省内に財團法人組織の750萬圓の施療施設團を成立させ、米國大使を名譽會長とし、我國朝野の名士が役員となつて純施療的の病院を建てるもので、所謂無產階級のみを施療する大病院である。

工事費は約350萬圓で、400萬圓は維持基金であると聞くが、開院後は全然無料の病院であるから、神田の三井慈善病院と俱に經營上に相當の困難あるべく期待せられる。

同愛記念病院の性質は一般病院で、入院患者は248人、外來は600人の豫定である。入院患者分科別は、内科が60病床、外科が50病床、眼科が10病床、皮膚科が23病床で、其他の耳鼻咽喉科、小兒科、產婦人科ともにて248病床となつてゐるが、其中で各科に融通するから收容力に相當の彈力がある。

一病棟は三十人宛を收容して各完全なる設備が獨立してゐる、之は看護婦の能率に應ずる設計單位となつてゐる。其他設計は世界第一と稱せらるゝ米國の最近の例を参考として我國風に應する様にせられたものである。

敷地は南北83間、東西50間の長方形で、西は隅田川に面し、南は本所公園に面してを



同愛記念病院設計建築士
近藤十郎
(1) Mr. Juro Kondoh,
Architect.

同愛記念病院新築工事構造概要

- 1 建物の面積左の如し。
平積合計 1,654坪 2合 2勺 7才
右總延平積 5,332坪 8合 0勺 8才
- 2 木建物の軒高は左の如し。
本館中央部は第1地盤よりバラベット上端迄18米400粍同左右翼部同上15米500粍
同中庭一階建第2地盤よりバラベット上端迄8米150粍病棟は第3地盤よりバラベット上端迄16米950粍とす。
- 3 基礎竪軸構造
本建物の基礎は現場に示せる第3地盤より深さ約1米800粍掘下け總掘竪布掘とし混
凝土杭(杭は別途施工)間は勿論根切下は全
部割栗石及目潰砂利入搗固め敷均し混
凝土を打堅め其上端に鐵筋混
凝土總地形其他を
施し建物の柱各階の床版、梁、足堅め梁、
胴差、柱頭繋ぎ梁、壁體等は總て鐵筋混
凝土構造とす。
但壁體の厚さ外壁は16粍若しくは其れ以
上とし内壁は10粍及15粍の二種とす。
- 4 輕量混
凝土

本館及病棟二階以上の各階床版上には全部輕量混凝土厚6厘以上打込むものとす。

5 鐵骨構造

本館第4階大講堂座席下及同屋上動物室滅菌水製造室、タンク室、各病棟非常階段は鐵骨構造とす。

但本館屋上諸室は日本トラスコンスタンダードビルディングを採用するものとす。

6 陸屋根及床其他防水工事

本館及病棟床及陸屋根は全部混凝土スラブにして陸屋根には50分1以上の勾配を附し左に記載せる床版の表面には何れも米國ジョンスマンビル會社製品を用ひ同會社式防水工事を施工するものとす。

(附屬建物は略す)

同愛病院建築工事に就て

本工事は近藤十郎氏設計監督の下に竹中工務店の施工で、報酬加算費計算式にして竹中工務店、大林組、清水組、大倉組の見積合せの結果、竹中組に決定したものである。

請負條件として決定額を超過したるときは其超過額の半額を施工者より提出し、決定額に達せざりしきは其差額の半額を施工者に賞與さる、取極めとなつてゐる。

報酬の率は竹中工務店八分五厘、大林組八分五厘、清水組九分、大倉組九分四厘の見積りであつた。

基礎は大阪田中式コンクリートバイルにして、徑17吋長18尺を打込んだるゝ、總コンクリート厚一尺打立てである。

本工事に用ふる鐵筋材約1500噸はトラスコンデフォームドバーを使用し、其價格1噸當り132圓である。

鐵筋の曲げ方組立共1噸當りの工賃は12圓となつてゐる。假枠は亞米利加松を用ひ、コンクリート立1坪に對し、平均而13坪、2回半遣ひにして堰板は厚1吋接平合抉り目板打ちとしてある。

コンクリート用の砂利は茨城縣久慈川產に

して、其空隙率40%、砂は武州多摩川產空隙率同じく40%である。

砂の價格は打上計算にて1立坪14圓50錢砂利同じく39圓である。この打上計算は圖面で計算したる額の9分5厘とす。

セメントは淺野セメントを支給する。コンクリートミキサーは八切練のものを使用し、一日平均練上げ回數160回、ミキサーは2臺使用、1臺に付人夫29人掛り1人の賃金は2圓20錢である。

假枠損料は1面坪2圓90錢にして、下拵取付手間1面坪2圓10錢、取解き30錢となつてゐる。

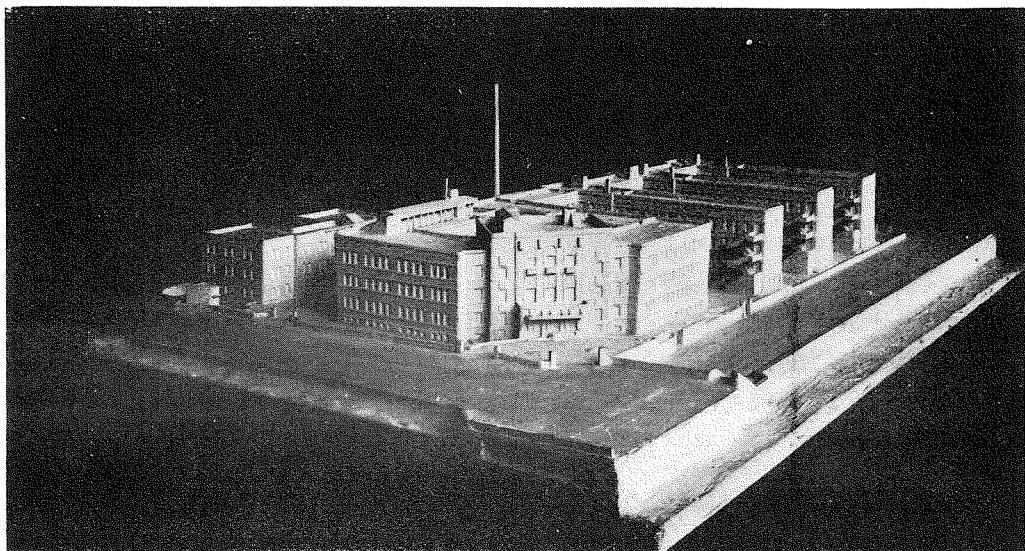
鐵筋コンクリート工事は一月下旬にて大部分竣工してゐるが、其成績良好にして龜裂氣泡等の缺點は毫もない、これは實費計算式の最も適當なる方法たるを證明するもので現場監督主任八板志賀助氏の指揮監督の周到なるゝ、會計主任渡邊音次氏の經驗に富み技術に理解あり、竹中工務店支配人瀬戸強三郎氏の實費計算に關する研究心深く、此種の工事に精通せるゝ、現場主任濱尾安一氏の熱心職務に從事する等何れも皆協同一致の結果圓満なる好果を擧げつゝある所以である。尙ほ設計主任小林仙次氏の談によれば、外科大手術室は最も嶄新なる設備にして、消毒室、器械室、麻醉室、醫員休所等を手術室の周圍に附屬せしめ、手術室は手術臺の外何物も置かざることゝとした、これは患者の眼に觸るゝ害あるためである。

醫師の手術を行ふときは非常に緊張する故に醫師休憩室には、沐浴室を備へ手術後充分休養し得る裝置としてある。

麻醉室は患者に恐怖の念を起さしめぬ様、暖き氣分に満ちたる設計としてある。

其他外科は手術室、婦人科手術室、レントゲン治療室、コイル室、電氣治療室、光線治療室等最も進歩したる方法を採用して設計したるもので、何回なく洗練協議を重ねて設計には苦心慘憺たるものがあつたとの事である。

The Fraternity Memorial Hospital, Very Modern in every Respect, Built by the Contribution from American Friends, in Memory of the Great Earthquake and Fire in 1923, Near Completion.

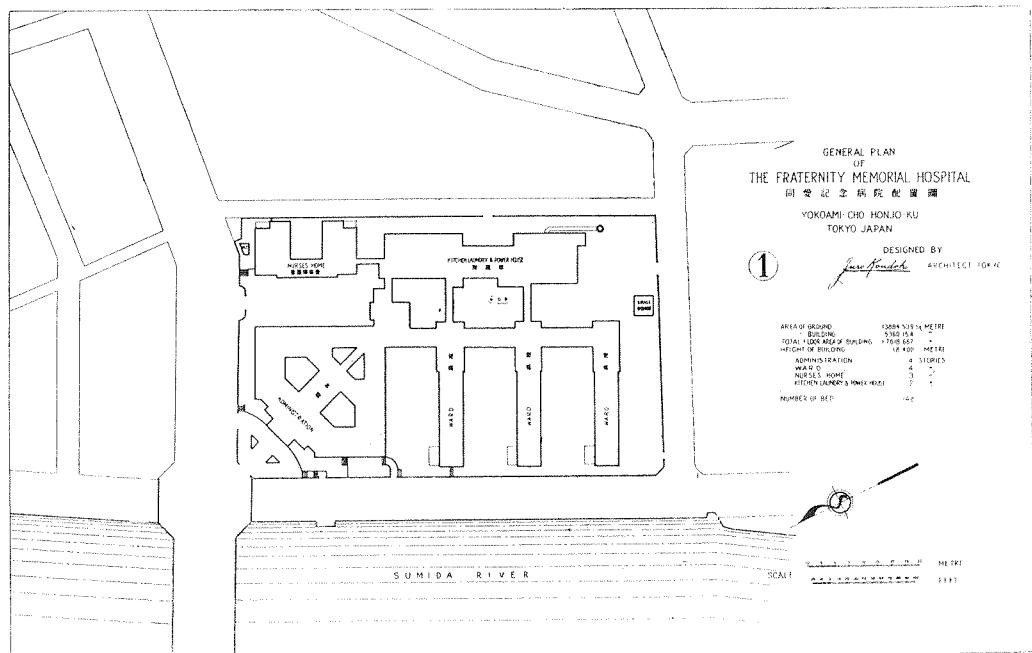


(2) 同愛記念病院全景模型

(2) The Model of the Fraternity Memorial Hospital.

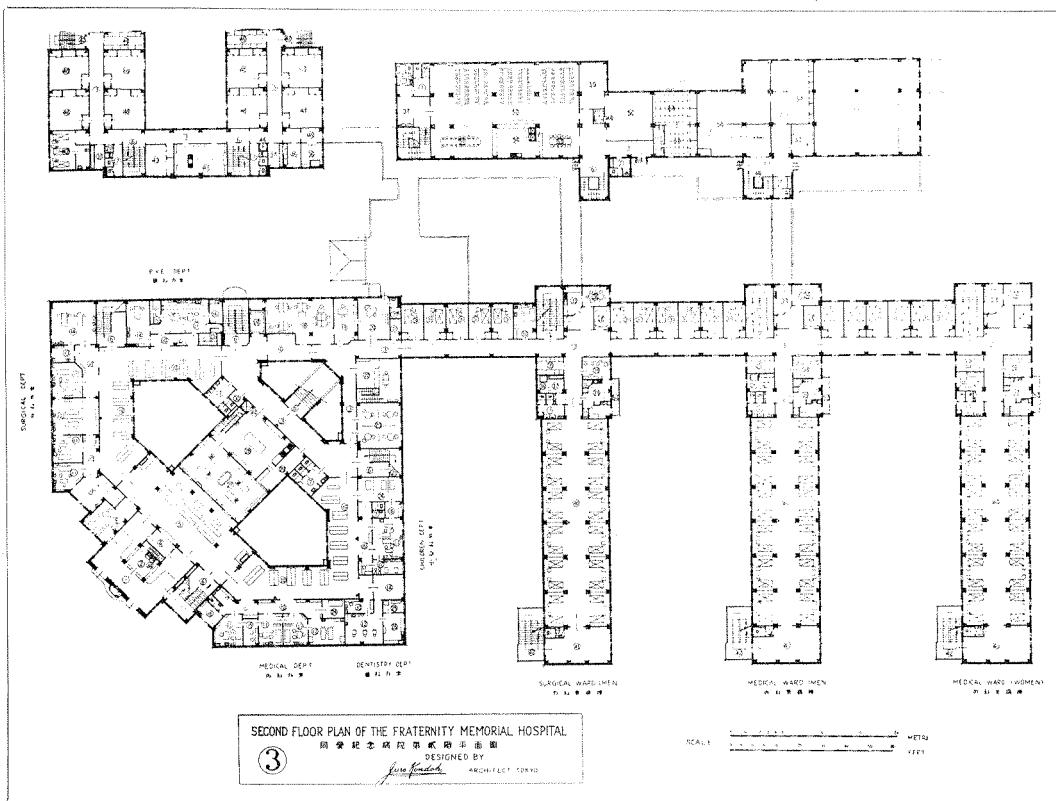
(3) 同愛記念病院配置圖
圖に於て下は隅田川、左は日下工事中の藏前橋を示す

(3) General Plan of the Fraternity Memorial Hospital.



(4) 同愛記念病院第二階平面圖

(4) Second Floor Plan.



左方本館は外來各科診察室、右方は各病棟で上部は附屬舎である。室の配置は最も合理的なものである

(5) 同愛記念病院第二階各室配置説明表

(5) Room List of the Same.

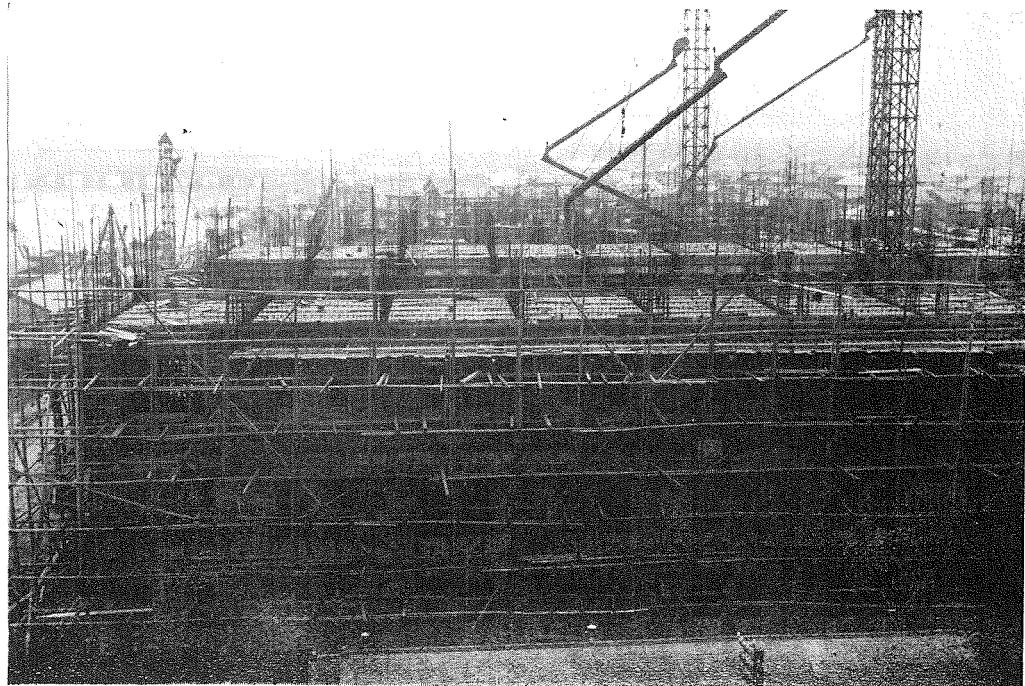
ROOM LIST	室名
1	MAIN ENTRANCE HALL
2	FOOTWEAR DEPOSIT
3	CORRIDOR
4	INQUIRY OFFICE
5	WAITING HALL
6	STAGO CASE
7	TOILET
8	SOCIAL SERVICE Rm
9	PASSENGER ELEVATOR
10	WALKING CORRIDOR
11	EXAMINING Rm
12	ARTMENT Rm
13	PREPARED Rm
14	OPERATING Rm
15	DARK Rm
16	LAWNTORY
17	PASSENGER ELEVATOR
18	OFFICE
19	HEAD CLERK Rm
20	SUPERINTENDENT OFFICE
21	CLO-ET
22	SUPPLY Rm
23	RECEPTION Rm
24	COLLECTION Rm
25	WORK Rm
26	PHARMACY
27	DRUG PREPARATION Rm
28	DISPENSERY MEDICINE DELIVERY
29	TELEPHONE
30	SINGLE WARD
31	SURGICAL TREATMENT Rm
32	SERVING KITCHEN
33	DINING Rm
34	LOCKER & LINEN Rm
35	BATH
36	LIFT
37	LAVATORY
38	UTILITY STATION
39	UTILITY Rm
40	MAIN WARD
41	SOLARIUM
42	EMERGENCY ESCAPE
43	HOUSE KEEPING Rm
44	LIFT
45	LAUNDRY
46	DRESSING Rm
47	NURSES SICK Rm
48	NURSES BED Rm
49	TRUNK Rm
50	BALCONY
51	PUBLIC DINING Rm
52	NURSES DINING Rm
53	EMPLOYEE DINING Rm
54	SERVING Rm
55	RICE STORE
56	STORE
57	COOKS BED Rm
58	GENERAL LAUNDRY
59	SWING Rm
60	ENGINEER Rm
61	UPPER PART OF BOILER Rm

(6) 同愛記念病院第三病棟三階床
コンクリート打 (15-10-17)



(6) Concrete Placing for Third
Floor of No. 3 Ward

(7) 同愛記念病院コンクリート工事全景 (15-11-17)



(7) General View of Concrete Placing.